

2014年度第2回 私立大学図書館協会ホームページ委員会議事要録

日 時 : 2014年10月10日(金) 13:30~16:30

場 所 : 明治学院大学(白金キャンパス) 本館9階 92会議室

出席者 : 河村 学(立教大学)、安東 正玄(立命館大学)、梅田 順一(明治大学)、
金万 智昭(専修大学)、山田 玲子(明治学院大学)、藤岡 聖子(愛知学院大学)、
関谷 治代(南山大学)、天笠 洋一(京都産業大学)、平林 達也(流通科学大学)、
新 孝一(四国大学)、本松 由衣(久留米大学)

委員長 : 河村 学(立教大学)

【敬称略】

【報告事項】

第1回東西合同役員会、総会での報告について

【協議事項】

1. 来季 HP 委員会の委託業務内容とコンテンツ係について(資料 1A,1B)
2. HP 委員会にかかわる規程・細則の廃止、改正について(資料 2,3)
3. 旧ホームページのクローズ準備について(資料 4)
4. その他の課題について(資料 5)

【報告事項】

第1回東西合同役員会、総会での報告について

河村委員長より、第1回東西合同役員会(於:岡山理科大学 2014年8月27日開催)では、HP 委員会会議報告、WWW 情報資源提供サービス利用状況報告のほか、昨年度より検討を進めてきた HP 委員会の縮小を前提とした委員会のあり方、それを踏まえた業務委託内容の検討や規程・細則の改定案の策定を行ったことを報告した旨、報告があった。また、総会(於:岡山理科大学 2014年8月28日開催)では、昨年度の活動報告を行った旨、報告があった。

【協議事項】

1. 来季 HP 委員会の委託業務内容とコンテンツ係について(資料 1A,1B)

最初に、河村委員長より、来季 HP 委員会構成が現状の 11 名から 4 名になることを踏まえ、必要に応じて各地区部会協議会よりコンテンツ係が選出されること、HP 委員が担っていた業務を含め、委託業務を拡大していくという、今までの検討の経緯の確認があった。続いて配付資料 1A「2015 年度以降の委託業務詳細(案)」に基づき、従来の運用・保守管理(穂高産業株式会社)やレンタルサーバ(ファーストサーバ株式会社)に留まらず、リサーチ業務を含めた質問受付や HP 委員会の窓口を一本化し、企画提案や実施も含め、各委託業者の統括を行う業者も考慮することを検討した。リサーチ業務を含めた質問受付については、一旦、保留としたが、委託概要のイメージとして、来季以降、HP 委員は、委託業者への相談や依頼が中心となり、作業量は軽減されること、IT 知識有無の制約がなくなり委員選出校の負担感も少なくなることを確認した。

今までの委託業務に加え、今後は委託業者に企画提案も希望することから、当面は(ア)メーリングリストの改善、(イ) CMS システムの更新計画、(ウ)サイバー攻撃に対する策定の3つを提案候補とした。更に、従来のインフォメーションサービスに替わるものとして、(エ)加盟館のコミュニケーションを加えることとした。安東委員(会長校)より、メーリングリストの改善については、全加盟館への連絡用として会長校のメーリングリストを使用するという慣習のため会長校への負担が重く、協会のメーリングリストで補えるようにしておかなければ業務委託のメンテナンスも難しくなること、京都地区協議会からは現在のメーリングリストのメンテナンス画面が不便という意見がある旨、補足説明があった。これらの検討内容を踏まえ、各業者より見積もりを取り、12月の常任幹事会に予算申請を行うことを確認した。

コンテンツ係については、配付資料 1B「コンテンツ係について」に基づき、係としての位置づけ、即ち HP 委員に代わって WEB サイトへのコンテンツ掲載やそれに伴う委託業者と依頼・調整を行うために必要に応じて各地区部会及び地区協議会が選出する作業担当者であり、選出方法、人数ともに任意とすることを確認した。新委員(中国・四国地区協議会)より、HP 委員とコンテンツ係の違いの明文化について確認があり、河村委員長より、明文化はせず各地区協議会ごとの合意文書等、任意とする旨、説明があった。また、HP 委員・コンテンツ係・各委託業者間の指示命令系統についても確認し、来季 HP 委員のメーリングリストをコンテンツ係に公開して運用することが望ましいことも併せて確認した。

旧ページ移行作業に伴う東地区研究部研究分科会のホームページの取りまとめは、HP 委員(東地区部会研究担当理事校)が行い、研究分科会担当者がコンテンツ係の役割を担うことも確認した。

2. HP 委員会にかかわる規程・細則の廃止・改正について(資料 2,3A,3B)

河村委員長より、2014年度第1回 HP 委員会での検討に基づき、以下の[一部改正][廃止][変更なし]の3項目となること、12月の常任幹事会にて報告、承認の予定の旨、説明があった。[一部改正]については、配付資料 2, 3A, 3B に基づき再度確認した。

[一部改正]

- ・私立大学図書館協会ホームページ委員会設置要領
- ・私立大学図書館協会ホームページ公開細則
- ・私立大学図書館協会 WWW 情報資源提供サービス利用細則

[廃止]

- ・私立大学図書館協会ホームページ作成ガイドライン
- ・WWW 情報資源提供サービスにおけるアプリケーションゲートウェイ機能利用細則

[変更なし]

- ・私立大学図書館協会ホームページ運用要領
- ・私立大学図書館協会加盟館インフォメーションサービス細則

3. 旧ホームページのクローズ準備について(資料 4)

河村委員長より、前季ホームページ委員会からの引き継ぎ基本方針に基づき、2012年8月のリニューアル前のページは、2014年度末までにクローズすることを確認した。

配付資料 4 に示されたフローチャートに基づき、各地区部会協議会で判断、対応することとした。旧ホームページは削除するが、ファイルは CD-Rom 等で保存し、各地区部会協議会

で保持することを検討した。関谷委員(東海地区協議会)より、アーカイブという認識について確認があり、安東委員(会長校)より、ホームページ委員会としてはアーカイブの意識がないこと、また、天笠委員(京都地区協議会)より、アーカイブの取り決めをしている例の説明があった。

4. その他の課題について(資料 5)

河村委員長より、配付資料 5 に基づき、前季ホームページ委員会からの引き継ぎ課題である[協会サーバへのデータアーカイブ]と[加盟館同士の情報交換ツール]について説明があった。

[協会サーバへのデータアーカイブ]については FTP アクセスからのリスクもあるため、今後は FTP 利用を避け、ファイル共有サービスは別途検討するものとしたこと、現協会サーバであるファーストサーバ株式会社のレンタルサーバを使う方策は検討終了することを確認した。安東委員(会長校)より、データアーカイブのニーズはあるため、ファーストサーバ株式会社とは異なる何らかの資源を使うことを来季以降、委託業者からの企画提案を含め検討したい旨、提案があった。

[加盟館同士の情報交換ツール]については、インフォメーションサービスの廃止も視野に入れ、facebook などへの移行を検討してきた経緯を踏まえ、来季 HP 委員会への引き継ぐためにも、次回の委員会までに再度、インフォメーションサービスの在り方を検討しておくこととした。

※次回委員会は、2015 年 2 月 27 日(金)四国大学で開催する予定とした。

以上